

はじめの一步①

8月11日(土) ~ 8月12日(日)

I N 明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	海遊び	キャンプファイヤー
2日目	清掃・野外炊飯	施設を出発・解散	

一日目： 日差しが照りつける明石駅に自分の体と同じくらいの荷物を抱えたメンバーが集まりました。緊張よりもわくわくする気持ちが大いさようでグループ分けをするとすぐにリーダーや友達とお喋りをしておられました。電車と徒歩で移動し、施設到着後お弁当を食べました。お弁当を食べると、慣れない移動で疲れていた顔に笑顔が戻りました。入所オリエンテーション後は海遊びへ向かいました。最初は怖がっていたメンバーもプカプカ浮く事を楽しみ、次第にリーダーの手を借りなくても気持ちよさそうに泳いでおられました。着替えを終え、部屋でゆっくりと過ごしました。夕食は余程お腹がすいていたのか、ミートスパゲッティをぺろりと平らげ、何度もおかわりしておられました。そして夜はキャンプファイヤーで盛り上がりました。大きな声を出し、ゲームやダンスを楽しみました。入浴後、布団に入るとすぐに寝息が聞こえてきました。



二日目： 起床すると帰りの支度とともにシーツや布団を畳んだり、部屋の掃除をしたり、やる事が沢山ありましたが、協力して素早く行動できていました。二日目は朝食と昼食のどちらも自分達で作りました。朝食のホットサンドは、レタス、ハム、チーズを食パンに挟み、アルミホイルに包み、牛乳パックに入れパックを燃やしていきました。出来上がったホットサンドを口いっぱい頬張っておられました。朝食後、部屋から荷物を運び出し、グループタイムを楽しみました。そして楽しみにしていたカレー作りが始まりました。カレー係とかまど係に分かれ、やり方を伝えたり、「一緒にやろう!」と誘ったり、友達と声をかけ合う姿が沢山見られました。予定の時間に出来上がり、みんなで完成を喜びながら食べました。お鍋やお皿の片付けも一人一人が懸命に頑張り、施設を後にしました。全体解散の明石駅に到着する頃にはとても疲れた表情のメンバーでしたが、グループの友達やリーダーと別れる際は「またね!」と笑顔で話しておられました。

<キャンプ総括>

今年は体力や行動スピードの違いを考慮し、小学生組と幼児組に分けてグループを組みました。荷物準備や集合など、どうしても幼児組が遅れてしまう場面もありましたが、先にできる作業を進め待つ時間を減らしたり、幼児組だけの休憩時間を設け体力を回復したり、どちらの負担も減らす事ができたのではと思います。また、同年代が多いグループ構成となり、例年以上にグループ全員で楽しむ事ができていたと感じました。兄弟でのご参加も多く、お兄さんお姉さん達が弟や妹の様子を心配そうに見守ってくれる姿も微笑ましかったです。二日間寂しさに負けそうになりながらも本当によく頑張りました。これからは新しい一歩を踏み出し、たくさんの事に挑戦して行ってほしいです。

(生本 ひろみ)